



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

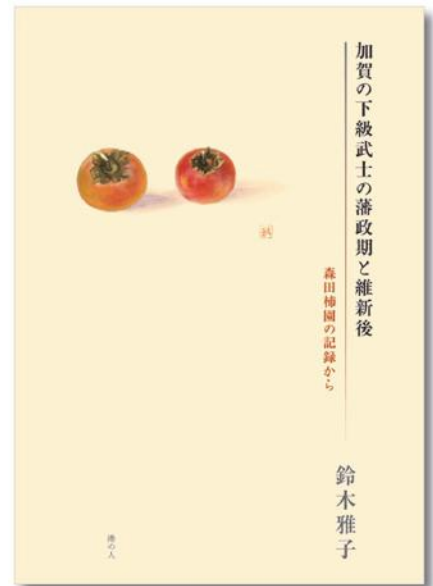
かが かきゅう ぶし はんせいぎ いしんご
加賀の下級武士の藩政期と維新後

もりた しえん きろく
森田柿園の記録から 鈴木雅子著

ISBN978-4-89629-365-4 C0023 A5判/上製本/函入/本文484頁/定価：本体6000円+税

幕末から維新、明治へ激動の時代を生きた加賀の武士、
森田平次（柿園）の生涯と、当時の金沢の実相を描く壮大な歴史物語。

加賀藩（石川県）の武士、森田平次（柿園は号、1823～1908）は家の記録『柿園日記』全8巻をまとめていた。本書は、その貴重な日記を詳しく読み込み、激動の時代を生きた森田柿園の生涯を辿る。さらに金沢の人びとの暮らしや世相、加賀方言、ことわざなどを丁寧に語る。いまだ埋もれていた石川県の近代史に光をあてた傑作が誕生する。



鈴木雅子（すずき まさこ）

1928年東京生まれ。日本語研究者、郷土史家。近世日本語を研究する傍ら、故郷金沢に伝わる昔話や加賀方言を丹念に掘り起こす。郷土史の発展に尽力。主著に『金沢の昔話と暮らし、ならわし』ほか多数。

[本書のおもな内容]

- 1 はじめに
- 2 森田家の系譜
- 3 茨木氏と給人の森田家
- 4 明治維新後の森田平次
- 5 県官辞任後の森田平次
- 6 森田平次の人物像
- 7 歴代の暮らしむぎと語り伝えられた逸話
- 8 記録から見た世相の一端
- 9 柿木畠と柿園舎 ほか

*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	加賀の下級武士の藩政期と維新後 森田柿園の記録から 鈴木雅子著	
		ISBN978-4-89629-365-4 本体価格 6000 円+税	
ご担当：	様	冊	港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜 3-11-49 電話：0467-60-1374 FAX：0467-60-1375